

地下水位の回復にともなう広域地盤隆起の問題とその地中施設への影響に関する研究委員会

第2回委員会

議事録

1. 日 時 : 平成 22 年 9 月 21 日 (火) 14:00~17:00
2. 場 所 : 地盤工学会 地下会議室
3. 出席者 : 小泉委員長、スレン幹事、伊藤 (民) 幹事兼委員、斉藤委員、松川委員、
松永委員、片岡委員、日下委員、伊藤 (圭) 委員、蘭委員、齋藤委員、
白石委員、野口委員、金田委員、小野委員、杉山オブザーバー、馬場オブザーバー
4. 欠席者 : 田中副委員長、森山委員、高橋委員、相内委員、岩波委員
5. 議 題 :
 - (1) 委員長挨拶
 - ・小泉委員長より委員会開催の挨拶があった。
 - (2) 委員の自己紹介
 - ・第1回委員会を欠席された片岡委員、日下委員から自己紹介があった。
 - (3) 第1回委員会の議事録確認
 - ・スレン幹事より6月22日に行われた第1回委員会の議事録についての確認が行われた。
 - (4) 報告事項
 - 1) H22 委員会活動の概要報告
 - ・スレン幹事より委員会全体作業、作業工程、各 WG の全体内容について報告があった。
 - 2) WG-1 (地盤隆起データ収集) の中間報告
 - ・伊藤 (圭) 委員よりこれまでの WG-1 の活動内容の紹介があった。内容は以下通りである。
 - ① 東京都 (23 区) のデータ収集を行い、さらに地域を絞り分析を行った。
 - ② 今後、地方都市 (名古屋、大阪) のデータ収集を順次行っていく。
 - ③ 委員からの意見
 - 洪積層のリバウンドについては、東京都のデータは一部のみのため、他のデータの分析が必要
 - 洪積層と沖積層の変動量 (リバウンドと沈下) の割合を明確にする必要がある。
 - 3) WG-2 (地盤隆起メカニズムの再現と予測法の開発) の中間報告
 - ・伊藤 (民) 幹事兼委員よりこれまでの WG-2 の活動内容の紹介があった。内容は以下通りである。
 - ① 地盤隆起メカニズムを説明し、地盤隆起現象を再現した遠心模型実験を紹介した。
 - ② 各委員が実施した FEM 解析 (遠心模型実験の再現解析) を紹介した。
 - ③ 意見・質問
 - 各委員の解析対象模型地盤は同じなのに、なぜ結果が違うか?
 - 用いた構成式や地盤の初期設定が異なるから
 - 実際の地盤はもっと複雑ですが、実験では単純な境界条件で良いか?
 - まずは、単純なモデルからスタートし、現象を把握してから、数値解析で実際の地

盤を検討する。

4) WG-3 (被害事例収集と影響検討) の中間報告

・ 蘭委員よりこれまでの WG-3 の活動内容の紹介があった。内容は以下通りである。

- ① 地下水回復にともなう地盤隆起が原因と考えられる東京都内の被害事例を 2 件紹介した。
- ② さらなる被害事例収集のために、各委員に協力を仰いだ。
- ③ 意見
→ トンネルの変形の原因は浮力なのか、圧力なのか明確にする必要がある。

(5) 審議事項

1) Geo-Kanto2010 の委員会活動報告会に参加

・ スレン幹事より、Geo-Kanto2010 の参加要領が紹介された。

→ Geo-Kanto2010 は平成 22 年 11 月 4 日と 5 日に埼玉市の大宮ソニックシティビルで開催される。

・ Geo-Kanto2010 の委員会活動報告会では、本委員会で行った中間報告をまとめたものを発表することが了承された。

・ 発表原稿の締め切りは 10 月 1 日になっている。

・ 発表原稿の内容はメールで審議する。

・ 研究印会の報告会の参加については、都合のつく委員は積極的に参加して頂く。

2) 当委員会の今後の WG 方針

・ WG の活動については引き続き WG 長が招集し、それぞれの構成委員に連絡する。

6. 次回の委員会開催について

・ 次回の委員会は 12 月末を予定し、開催日時はメール審議により決定する。

以 上